

賞状を受け取る篠田幸裕さん(左)
 佐賀市のグラントはがくれ



九州地方発明表彰

本年度の九州地方発明表彰(発明協会主催)で、戸上電機製作所(佐賀市)の篠田幸裕さん(58)が「アーク発生回路を特定できるアーク検出装置」で発明協会会長賞に輝いた。同社の戸上信一社長も、発明や開発に尽力した法人の代表者として実施功績賞を受けた。

篠田さんが受賞した装置は、太陽光発電システムなどの直流回路内で起こる「アーク発生」という故障を早期に発見するもの。回路がショートして発火する事故などの防止に役立つ。篠田さん

篠田さん(戸上電機)発明協会会長賞 回路故障を早期発見する装置開発

は「歴史のある賞を受賞できて恐縮だ。受賞を機に(発明を)広く知ってもらえれば」と話した。

地方発明表彰は1921年に始まり、全国を8ブロックに分けて優れた発明者や指導・奨励・育成に貢献した人をたたえている。2日に佐賀市のグラントはがくれで表彰式があり、佐賀県から6人が表彰された。(小島発樹)

その他の受賞者は次の通り。(敬称略)

九州オープンイノベーションセンター会長賞 原裕(日本建設技術)▽県発明協会会長賞 原真由美(同)▽奨励功労賞 木寺圭介(武雄市青少年少女発明クラブ)、妹尾香津裕(佐賀市青少年少女発明クラブ)